

様式第3の6

水銀排出施設設置（使用、変更）届出書

提出日を記載
して下さい。

使用届を提出する場合は設置、変更
に取り消し線を引いて下さい。

令和〇年〇〇月〇〇日

和歌山市長

様

氏名又は名称及び住所並びに法人
にあつてはその代表者の氏名

届出者 和歌山市〇〇〇
△△△株式会社 代表取締役□□□□
電話番号 000-111-2222

大気汚染防止法~~第18条の28第1項~~（第18条の29第1項、~~第18条の30第1項~~）の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	△△△株式会社 〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	和歌山市◇◇◇	※受理年月日	年 月 日
水銀排出施設の種類	8 廃棄物焼却炉	※施設番号	
水銀排出施設の構造	別紙1のとおり。	※審査結果	
水銀排出施設の使用の方法	別紙2のとおり。	※備考	
水銀等の処理の方法	別紙3のとおり。		
参考事項			

- 備考 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則（以下「施行規則」という。）別表第3の3に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 施行規則様式第2による受理書の写しを添付し、参考事項の欄に、当該受理書の受理番号及び受理年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が別紙1～3の全部又は一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙1～3の全部又は一部を省略することができる。

別紙 1

水銀排出施設の構造

工場又は事業場における施設番号		No.1	
名称及び型式		廃棄物焼却炉 〇〇社製 aaa-123 (型式)	
設置年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	伝熱面積 (m ²)		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 廃棄物焼却炉の規模を記入して下さい。 </div>
	燃料の燃焼能力 (重油換算 l / h)		
	原料の処理能力 (t / h)		
	火格子面積又は羽口面断面積 (m ²)	2	
	変圧器の定格容量 (kVA)		
	焼却能力 (kg / h)	200	

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
- 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A 4 の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。ただし、参考事項の欄に、施行規則様式第1による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が構造概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該概要図の添付を省略することができる。

別紙 2

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号		No.1		
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等	9時～17時 8時間/回 1回/日 20日/月		時～ 時 時間/回 回/日 日/月
	季節変動	通年（変動なし）など		
原材料 （水銀等の排出に影響のあるものに限る。）	種類	廃プラスチック、木くず、汚泥		<ul style="list-style-type: none"> ・代表値や平均値を記載して下さい。 ・事業者において水銀含有量の測定が不可能な場合は空欄でも可です。 （例：梱包された状態での処理が求められる感染性廃棄物）
	使用割合	廃プラスチック：木くず：汚泥＝4：3：3		
	原材料中の水銀等含有割合	廃プラスチック：0.2mg/kg 木くず：0.3mg/kg 汚泥：0.1mg/kg		
	1日の使用量	1,000kg		
燃料 （水銀等の排出に影響のあるものに限る。）	種類			<ul style="list-style-type: none"> ・乾きガス中の濃度（平均的な濃度）を記載して下さい。 ・水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度を記載して下さい。 ・届出の時点で測定実績がない場合は設計値又は空欄でも可です。
	燃料中の水銀等の含有割合			
	通常の使用量			
排出ガス量（Nm ³ /h）		湿り	最大 44,000	通常 38,000
		乾き	最大 35,000	通常 29,000
排出ガス中の酸素濃度（％）		10		<ul style="list-style-type: none"> ただし、設計値が定期測定の結果と大きく異なる場合又は空欄の場合は、定期測定結果を踏まえて変更届を提出して下さい。
水銀濃度 （μg/Nm ³ ）	全水銀	1.5		
	ガス状水銀	1.4		
	粒子状水銀	0.1		
参考事項				

- 備考 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。
 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出量の変動の状況、水銀等の排出のために採っている方法等を記載すること。

別紙 3

水銀等の処理の方法

水銀等の処理施設の工場又は事業場における施設番号		処理施設 1			
処理に係る水銀排出施設の工場又は事業場における施設番号		No.1		<p>・水銀等の大気排出抑制に効果があると考えられる排出ガス処理施設について記載して下さい。</p> <p>(例：電気集じん機、スクラバー)</p> <p>・水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付して下さい。</p>	
水銀等の処理施設の種類、名称及び型式		ろ過式集じん機 〇〇社製 bbb-123 (型式)			
設置年月日		令和〇〇年〇〇月〇〇日			
着手予定年月日		年 月 日			
使用開始予定年月日		年 月 日			
処	排出ガス量 (Nm ³ /h)	湿り	最大 44,000 通常 38,000		
		乾き	最大 35,000 通常 29,000		
理	排出ガス温度 (℃)	処理前	160		
		処理後	145		
能 力	排出ガス中の酸素濃度(%)		10	<p>・施設の構造上の理由などにより測定が不可能な場合は、「処理前」「捕集効率」は空欄でも可です。</p> <p>・使用届出の時点で測定実績がない場合、「処理後」は設計値又は空欄でも可です。</p> <p>ただし、測定値が定期測定の結果と大きく異なる場合又は空欄の場合は、定期測定結果を踏まえて変更届を提出して下さい。</p>	
	水銀濃度 (µg/Nm ³)	全水銀	処理前		17
			処理後		1.6
		ガス状水銀	処理前		15
			処理後		1.5
	粒子状水銀	処理前	2.0		
		処理後	0.1		
	捕集効率 (%)	全水銀			91
ガス状水銀		90			
粒子状水銀		95			
使用状況	1日の使用時間及び月使用日数等		9時～17時 8時間/回 1回/日 20日/月		
	季節変動		通年(変動なし)など		

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための施設(集じん機等)について、記載すること。
- 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。ただし、参考事項の欄に、施行規則様式第1による届出年月日を記載する場合であつて、道府県知事又は大気汚染防止法施行令第13条に規定する市の長が当該構造図及び概要図を添付することを要しないと認めるときは、当該構造図及び概要図の添付を省略することができる。